



千代

○ペランダのはためくシート渡り鳥
○膝にのる幼子の膝衣被
もみじ葉や浜一望の峠道

農子

幾何模様茜雲へと鳥渡る
持ち帰る作品重き秋思かな
木犀の風に包まる朝一番

初江

○聞きに行く故郷の木の实落ちる音
溪流と笑窪が自慢紅葉茶屋
剥製の野鳥大小鳥渡る

富江

運動会終り轍に一札を
鳥渡る浦戸上空三十二羽
水引草いつもの場所の太鼓橋

ゆの

○珍らしき話聞かせよ渡り鳥
葛紅葉※碌山館によく似合う※碌山美術館
竜田姫裳裾靡かせやってくる

美貴

○紅葉かつ散る廃屋の屋根に散る
○落ちさうに落ちさうに落つ草の露
絵金画のあな恐ろしや冷ましや

弘

○舐めて貼る切手のずれて鳥帰る
○前触れも無く現世の熟柿落つ
草紅葉たどれば山も紅葉せり

丞子

○田を潰す重機の頭草紅葉
昼チャイム舟入川に鳥渡る
菊日和面会解除の母を見る

えり

○コロナ禍を知るや知らずや鳥渡る
○かの山に紅葉多ありかく遊び
柿紅葉落ちれば風の通り道

夕子

○渡り鳥双眼鏡の外に出る
○G・O・Tもネットも無縁鳥渡る
日参の展望台や鳥渡る

志津子

○蓼の花四・五・本入れて野のブーケ
草紅葉昔の事も指切も
秋の灯やひとり母似の五目飯

一枝

ふるさとは神来る頃か雀渡る
子の便りすきと二文字敬老日
講師席ペットボトルの水引草

富子

○一九八円慎重に焼かれる秋刀魚
○鳥渡る人はマスクに捕らわれて
毎年の紅葉なれど身に沁みて

味元 昭次 作品

老人も明日を信じて草紅葉
忠魂碑礎石をのぼる葛紅葉
鷹渡ることを話題に少女来る

● 市民句会は毎月第4水曜日に
開催しています（8月除く）
● 次回の句会は **11月25日（水）**
開催予定です。

